

「烈女ふたり—語り継がれた越前・若狭の孝行奇天人—」

1 展示概要

1808年（文化5）の冬、越前味真野の乳母のえ（当時42歳）は、手負いのイノシシと組み合い、重傷を負いながらも毫摂寺の二人のこどもを守り、その後80歳まで生きました。一方、江戸時代の中ごろ、若狭の奉公人つな（当時15歳）は、身を挺して奉公先のこどもを狂犬から守りますが、ほどなく命を落とします。

展示では、越前の「のえ」、若狭の「つな」というふたりの烈女（信念を貫いて行動した女性）をとりあげ、孝行奇天人*の調査を示す資料や、そのエピソードのひろがりをご紹介します。

*孝行奇天人とは、江戸時代、親孝行やすぐれた行いで賞賛に値するとされた人びとのことです。

2 期 間 平成27年8月28日（金）～10月21日（水） 県文書館閲覧室
（展示説明会 9月13日（日） 11:00～14:00～）

3 主な展示資料

(1) 展示ケース内

展 示 資 料		備 考
小浜藩領内の孝行奇天人の記録書籍	「若州良民伝」	福井県立図書館文書 A0145-00637、1781（天明元）年
福井藩領内の孝行奇天人の記録資料	「越前国孝行奇天人行状書」	県立図書館保管松平文庫 A0143-20807、1809（文化6）年
奇特者のえ関連資料	「野猪の牙」1点	越前市 本山毫摂寺蔵
歌劇になったのえ	「少女歌劇三月公演番組」	県文書館所蔵 高田富文書 A0502-00016、1933（昭和8）年

(2) 文書館展示室内

「忠列のえ女屏風」（二曲一隻、越前市 本山毫摂寺所蔵）

(3) パネル

歌劇「味真野の乳母」写真パネル、つな関係資料写真パネル

4 広 報

広報誌「県政広報ふくい」掲載
イベント情報（おでかけふくい）への登録
文書館ホームページ・文書館ふくい掲載

プレスリリースシステムへの登録
全庁システム掲示板への情報掲示
館内・フレンドリーバスでのポスター掲示

展示資料例



「若州良民伝」 つな
福井県立図書館文書



「忠烈のえ女屏風」（二曲一隻、部分）
越前市 本山毫摂寺蔵



野猪の牙
越前市 本山毫摂寺蔵